

RIMTEC

会社紹介

【事業内容】

RIM（Reaction Injection Molding：反応射出成形）配合液および成形品の販売

2003 年設立。原料のジシクロペンタジエンから配合液まで一貫した生産体制をもつ。独自の配合・成形・設計技術の融合により、住宅資材や自動車バンパーなど多様な成型品を生産・販売しています。

東京に本社を置き、日本ゼオン水島工場内に研究所と子会社ゼオンリム、フランスに研究開発機能を有する子会社 Telene S.A.S.（フランス）があります。また、アメリカの Zeon Chemicals L.P.に販売拠点を置いています。

【人員数】

2017 年 3 月末人員数：17 名（男性 16 名、女性 1 名）

2016 年度採用実績：0 名（男性 0 名、女性 0 名）



水島工場

成形品の例



ユニットバス

トラックのバンパー



浄化槽

会社方針（トップメッセージ）

原料にジシクロペンタジエンを用いた RIM 成形は、省資源、省エネルギーで大型成形品を生産する独自の技術であり、その用途も、水を浄化する浄化槽用途など環境改善に直接結びつく事業です。

RIMTEC は、この「環境に優しい成形用配合液・成形品の提供」を環境管理の重点テーマとして、RIM 成形の事業拡大を通じ、地球環境改善を目指すとともに、生産委託先や顧客の雇用創出と地域社会の活性化に貢献します。



梅澤 佳男 社長

安全への取り組み

【方針】

安全第一！RIMTEC は、一人ひとりが責任をもって行動し、生産委託先や顧客と深く連携することで、無事故・無災害を実現します。

【具体的な取り組み】

1. 生産委託先との生産品質会議（毎月）

生産状況・品質管理状況の報告、化学物質の法規制や事故事例の教育などを実施。

2. 生産委託先との相互診断（2 回／年）

・RIMTEC 研究所、ゼオンリム、生産委託先と合同で、5S と安全の相互診断活動を実施。

3. 顧客への安全教育（1 回／年）

- ・全顧客への安全教育資料の配布
- ・新規顧客への訪問指導

4. 風土づくりの推進（2 回／年）

2015 年度より、生産委託先と、安全について、より対話しやすい環境づくりを進めています。

環境負荷削減の取り組み

【方針】

- ・廃プラスチックのサーマルリサイクルを推進する。
- ・各国法規制に基づく、製品中の環境負荷物質削減に取り組む。

【具体的な取り組み】

1. 産業廃棄物の排出量削減

・廃プラスチックのサーマルリサイクル処理により、2015 年度以降、廃棄物埋立処分量を大幅に削減しています。

2. 各国法規制への対応

各国の法規制を海外子会社と確認し、環境負荷低減につながる商品開発と販売拡大を目指しています。

3. 環境関連データ（「0」は 0.5 未満、「0.0」は 0.05 未満を示す）

| RIMTEC（株） | | 2012 年度 | 2013 年度 | 2014 年度 | 2015 年度 | 2016 年度 |
|---|------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| PRTR 法対象物質 | 対象物質数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| | 使用量（トン） | 0.0 | 0.0 | 0 | 0 | 0 |
| | 排出量（トン） | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 | 0.0 |
| 産業廃棄物 | 減容前発生量（トン） | 52 | 49 | 23 | 31 | 39 |
| | 埋立処分量（トン） | 15.2 | 2.4 | 1.3 | 0.0 | 0.3 |
| 水資源（工業用水+地下水+上水道）使用量（千 m ³ ） | | 3.6 | 2.2 | 1.5 | 1.5 | 1.4 |
| CO ₂ 排出量（トン） | | 188 | 160 | 110 | 103 | 152 |
| エネルギー使用量（原油換算、kL） | | 160 | 138 | 90 | 89 | 78 |



3 極技術会議での製品レビュー

社員とともに

【方針】

社員一人ひとりが、「働く誇り」を感じ、性別・年齢・国籍などの属性によることなく、多様な価値観を理解し、許容しあえる会社を目指しています。また、グローバルに通用する人材の育成に重点を置いています。



自社操業員による新規顧客
（中華人民共和国）への技術指導

【具体的な取り組み】

1. グローバルに通用する人材の育成

- ・国外法規制講習会への参加
- ・研究者の国際会議への参加
- ・自社従業員の海外技術指導

2. 価値観の共有

- ・「たいまつ活動」を子会社へ展開し、価値観や社員相互の信頼関係の醸成を図る。
- ・全社員で 2020 年のありたい姿の実現に挑戦する。



3 極合同の「たいまつ活動」

地域との共生

地域社会と共に成長し、地域の活性化に貢献し、RIMTEC の持続的発展につなげていきます。

【具体的な取り組み】

1. 岡山リサーチパーク一般公開事業「おもしろ体験でえ〜」への参加

「おもしろ体験でえ〜」は、子どもたちが科学技術の楽しさを体験できるイベントです。2012 年度より岡山大学と共同でプラスチックをつくる体験実験を行ってきました。これまでの取り組みが評価され、一般社団法人日本化学連合主催の「化学コミュニケーション賞 2016」を受賞しました。

2. 産学連携による研究開発

RIMTEC 研究所は、基盤技術の共同研究を岡山大学、広島大学と実施しています。

3. 中国地方での産業創出

岡山大学、広島大学、公益財団法人ちゅうごく産業創造センターとの定期勉強会を実施しています。

4. 国際会議での発表

カナダのトロントで開催された米国電気電子学会（IEEE）の国際会議 CEIDP で「炭化水素系熱硬化樹脂」の研究成果を 2 件発表しました。



化学コミュニケーション賞
2016 の受賞